

病気を知るミニブック

[みつば]

mitsuba

脳
卒
中
を
知
ろ
う。



MINI BOOK
SERIES

02

独立行政法人 国立病院機構

大阪医療センター

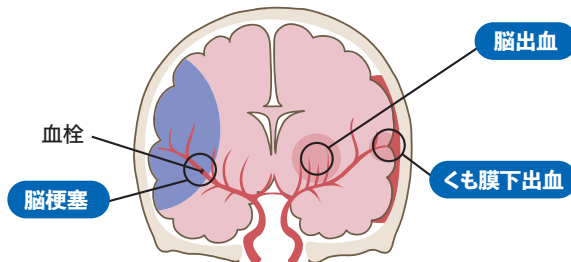
脳卒中を知ろう。

突然発症するからこそ、普段から予防を

「脳卒中」って、どんな病気？

脳卒中は、急に脳の血管が詰まったり破れたりして、脳のはたらきに異常をきたす病気の総称です。

脳卒中には、血管が詰まって脳の血液が不足する「脳梗塞」や、血管が破れて起こる「脳出血」「くも膜下出血」があります。



主な症状

- 片側の手足や顔が動かみにくい、しびれる
- ろれつが回らない
- ふらつき、めまいがする
- 激しい頭痛がする



片側の手足や顔が
動かみにくい、しびれる



ろれつが回らない



ふらつき、めまい



激しい頭痛

どんな検査や治療があるの？

脳卒中が疑われる場合、原因や状態を速やかに調べるため、CT検査、MRI検査、脳血管造影検査などを行います。治療は、命を守り、後遺症を少なくすることが目的です。タイプや状態に応じ、次のような治療を行います。

脳梗塞の治療

脳梗塞が完成していない超急性期では、血栓を溶かすrt-PAや血管内治療を行います。また、抗血栓療法や全身管理によって進行や再発を防ぎます。

脳出血の治療

出血が少ない場合は、薬で血圧や脳の腫れを抑え、出血が多く意識が低下している場合は、手術で血腫を取り除きます。

くも膜下出血の治療

多くの場合、脳動脈瘤の破裂で起こります。再出血を防ぐために、開頭手術や脳動脈瘤コイル塞栓術を行います。



📍 症状に気づいたら、119番！

脳卒中予防で重要なことは血圧管理です。塩分のとり過ぎに注意し、喫煙や大量飲酒は控えましょう。もしも左ページのような症状が現れたら、すぐに救急車を呼び、発症時刻を伝えましょう。

目標とする家庭血圧

上の血圧：**125mmHg未満**

下の血圧：**75mmHg未満**

(高血圧管理・治療ガイドライン2025)

Doctor's Voice

脳神経センター センター長 藤中 俊之

脳卒中は、ある日突然起こる身近な病気です。高血圧の方や、喫煙・飲酒の習慣がある方は特に注意が必要です。早い対応ほど命を守り、後遺症を軽くできる可能性があります。手足の麻痺や言葉のもつれ、激しい頭痛などを感じたら、迷わず救急車を呼びましょう。



地域のみなさまへ「おおさか健康セミナー」のご案内

当院では、地域のみなさまを対象とした医療講座「おおさか健康セミナー」を開催しています。各診療科の医師や医療スタッフが、病気の正しい知識や治療・予防の考え方について丁寧に解説します。専門的なテーマを扱いながらも、日々の生活のなかで役立つ視点を大切にお伝えしているのが特長です。

- 参加無料・予約不要で、どなたでもご参加いただけます！
 - 医療をより身近に感じていただける機会です。
- ぜひお気軽にご参加ください。

開催日程やテーマの詳細は、[当院ホームページ](#)
「[お知らせ](#)>[講演・行事のご案内](#)」をご覧ください。
お問い合わせ：地域医療連携室 TEL：06-6942-1331(代)

今回の開催は
令和8年7月4日(土) 乳腺外科です！



大阪医療センターへのアクセス

▶ 公共交通機関をご利用の場合

- Osaka Metro(大阪メトロ)
中央線・谷町線「谷町四丁目」駅11番出口すぐ
- 大阪シティバス 62系統
大阪駅 ⇄ 住吉車庫前「国立病院大阪医療センター」下車

▶ お車で越しの場合

- 阪神高速(東大阪線・東行き)：「法円坂ランプ」出口すぐ 上町筋を右折
- 一般道：上町筋と中央大通りとの交差点南西角



独立行政法人
国立病院機構 **大阪医療センター**
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION OSAKA NATIONAL HOSPITAL

住 所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

休診日 土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始(12月29日～1月3日)

代表電話番号 **06-6942-1331**

再診予約番号 **06-6946-3519** (受付：平日午後1時～4時)

